

第7回感染症研究拠点整備に関する連絡協議会議事要旨

1 日時 平成28年4月26日(火) 18:00~18:15

2 場所 長崎大学工学部2階 大会議室

3 出席者 5名

沢水清明(長崎県福祉保健部長)、野瀬弘志(長崎市企画財政部長)、安田静馬(長崎市市民健康部長)、調漸(長崎大学学長特別補佐、副学長)、森田公一(長崎大学熱帯医学研究所長)

4 事務局(長崎大学)

阿南圭一(研究国際部研究企画課長)

5 列席者

長崎県: 村田誠(福祉保健部医療政策課長)、岩崎次人(福祉保健部医療政策課総括課長補佐)、藤原勝浩(福祉保健部医療政策課課長補佐)、竹野大志(福祉保健部医療政策課係長)

長崎市: 原田宏子(企画財政部政策監兼都市経営室長)、高木規久子(市民健康部地域保健課長)、井上琢治(企画財政部都市経営室主幹)、松下英樹(企画財政部都市経営室係長)、島田清隆(市民健康部地域保健課疾病対策係長)

長崎大学: 井戸清隆(理事)、堀尾政博(熱帯医学研究所教授)、嶋野武志(産学官連携戦略本部教授)、他

6 議事

(1) 委員の交代について

調議長から、平成28年4月1日付けで連絡協議会の委員の交代があったことについて報告があった後、事務局(阿南研究企画課長)から、長崎市の事務機構に変更があったことに伴い、資料1のとおり感染症研究拠点整備に関する連絡協議会規約を平成28年4月1日付けで改正したことについて説明があり、新任の委員である沢水委員及び野瀬委員から挨拶があった。

(2) 報告事項(長崎大学から発表した感染症関係のプレスリリースについて)

事務局(阿南研究企画課長)から、前回の連絡協議会の開催以降、資料2-1のとおり長崎大学から感染症関係のプレスリリースを行った旨の説明があった。

(3) 報告事項(関係省庁、関係自治体及び大学等から構成される協議会について)

事務局(阿南研究企画課長)から、資料2-2のとおり関係省庁、関係自治体及び大学等から構成される協議会が4月27日に開催されるため、長崎県から濱本副知事、長崎市から三藤副市長、長崎大学から調学長特別補佐及び森田熱帯医学研究所長が出席する予定である旨の報告があった後、調議長から大要次のとおり発言があった。

(調議長) 住民の皆様からのご意見や、これまでの長崎県、長崎市との協議の中でも様々なご意見をいただき、積み残している課題もあると認識している。

長崎大学としては、世界最高水準の安全性を確保するための予算措置、国も含めた施設の管理運営体制の構築、テロ対策をはじめとする緊急時の対応方法の確立などについてきちんと議論していただきたいと考えている。また、感染症法に基づくきちんとした監督もお願いしたい。協議会では、国の関与がBSL4施設の安全性を高めることを訴えたいと考えている。

長崎県からは副知事が、長崎市からは副市長が協議会に出席されると聞いているので、これまでの議論を踏まえて、それぞれの立場で意見を述べられると思うし、これまでの間、連絡協議会の中で国の関与について様々な議論があったが、その内容について長崎大学の考え方、長崎の考え方を伝えたい。

明日の協議会の内容は、何らかの形で公開できる範囲で公開したいと考えている。

(4) 地域住民参加の連絡協議会について

事務局（阿南研究企画課長）から、第6回連絡協議会での意見等を受けて修正を行った、長崎大学における感染症研究拠点整備に関する地域連絡協議会（以下、地域連絡協議会）規約を長崎県及び長崎市と調整の上、資料3-1のとおり平成28年4月1日付けで施行したこと、地域連絡協議会の公募委員の公募結果は資料3-2のとおりであったこと、並びに現時点での地域連絡協議会委員の構成は資料3-3のとおりであることについて説明があった後、大要次のとおり調議長から補足説明があった。

（調議長）公募委員を審査する際には、提出のあった小論文を匿名化した上で連絡協議会の委員が審査を行い、賛成意見を持つ方、反対意見を持つ方の両方から4名公募委員を選考した。

なお、地域連絡協議会の委員は現在調整中であるため、資料3-3は現時点での委員名簿であり、第一回目の会合は5月中に開催したいと考えているが、現在、日程調整中であるので、日程が決まり次第連絡する。

以上